

中学校

姉妹校メイビル中訪問

～友情を深め、互いの文化を知る～

10月31日から11月6日までの7日間、姉妹校として交流を続けているアメリカ合衆国のメイビル中学校を中学生4人（加藤敬介君、加瀬智也君、林涼子さん、浅野朋奈さん）と伊場哲也教諭が訪問しました。



ホームステイ先では、料理を作るなど楽しい時間を過ごしました

私はアメリカの姉妹校のメイビル中に行きました。訪問中の3日間、ホームステイをしました。私のホームステイ先の家族はとても優しく、英語の不得手な私

にゆつくり簡単な言葉で話してくれました。放課後は買い物や牧場に連れて行ってくれました。日本の店とはちがいで、とても大きくびっくりしました。

アメリカの学校や家での生活はびっくりする事ばかりでした。はじめは不安だったけどだんだん慣れてきて別れるのがつらくなりました。これからも英語を勉強して交流を続けていきたいです。

文化の違いに触れ 貴重な体験

2年 林 涼子

私はアメリカの姉妹校のメイビル中に行きました。訪問中の3日間、ホームステイをしました。私のホームステイ先の家族はとても

優しく、英語の不得手な私にゆつくり簡単な言葉で話してくれました。放課後は買い物や牧場に連れて行ってくれました。日本の店とはちがいで、とても大きくびっくりしました。



にゆつくり簡単な言葉で話してくれました。放課後は買い物や牧場に連れて行ってくれました。日本の店とはちがいで、とても大きくびっくりしました。

学校も日本とはちがいました。学校にはほとんどの人がバスで通います。私も乗ったけどみんなに気軽にあいさつをしていました。授業は日本より短く30分授業でした。私は体育や理科の授業に参加しました。授業



将来は保母さん？子ども達ともすっかり仲良し (白浜保育園)

県教委指定「生き生き体験、地域が先生」

地域社会にふれ 多くを学ぶ

中学2年生122名が11月15日から3日間、自分が探した約50個所の職場で勉強しました。

白浜保育園で実習した7名は、園児とも打ち解け、着替えや昼寝の世話をするなど一生懸命でした。生で職業を体験した生徒は、そこで働く人達と交流することにより仕事の大変さと素晴らしさを学びました。

ジュニアオリンピックピックに2選手出場

横浜国際総合競技場で10月27日～29日の3日間、第31回ジュニアオリンピック陸上競技大会が行われました。当町からは、光中の鈴木秀明君と大木純也君が千葉県代表として出場し好成績を挙げました。

走幅跳7位



鈴木 秀明 君 (1年)

喜びの声

この大会で8位以内が目標でしたが7位になって、とてもうれしかったです。

砲丸投4位



大木 純也 君 (1年)

喜びの声

この大会では目標には達しませんでした。4位に入れ、とてもいい体験になりました。